

死亡者新規がん情報に関する通知 に基づく届出

(全国がん登録における遡り調査について)

※本手引き及び参考資料は、四国がんセンター 愛媛県がん登録室
作成 のものを福岡県内の医療機関様向けに改編したものです



福岡県がん登録室



独立行政法人 国立病院機構
九州がんセンター

遡り調査とは

- ◆ 遡り調査の位置づけ（がん登録推進法6条、法14条、法13条、法16条）
 - ◆ 遡り調査という行為は、任意の「調査」ではなく、死亡者情報票に端を発した、届出漏れの可能性の指摘と位置づけられ、その調査に基づいて作成される「遡り調査票」は届出票と同義である。
 - ◆ 厚生労働大臣は、がん登録推進法14条に基づいて、都道府県知事に通知を行う。
 - ◆ 都道府県知事は、通知を受け、法16条に基づいて、病院等に協力を求める。
 - ◆ 病院等は、診療情報等の検索を行い、届出対象となる症例を確認した場合には、法6条に基づいて届出義務を果たす。
 - ◆ 調査時点で廃院となっている病院、手挙げをやめた診療所は、調査対象年中に届出義務があっても遡り調査対象としない。



遡り調査とは

- ◆ 死亡診断書で初めて「がん」が判明した患者のがん情報について行う調査
- ◆ 対象：死亡診断書を作成した医師の所属する病院又は診療所
- ◆ 届出の方法：GTOL（オンライン調査）もしくはOCR（紙）

GTOLとは・・・

『がん登録オンラインシステム(Gan-Touroku OnLine system)』
[がん登録オンラインシステム: \[国立がん研究センター がん情報サービス 医療関係者の方へ\] \(ganjoho.jp\)](http://ganjoho.jp) をご参照ください。

※2023.5.31に新システムに移行しました。

※旧システムから新システムへの更新が必要です。



独立行政法人 国立病院機構

九州がんセンター



死亡診断書のがんについて

- ◆ 自施設で作成した死亡診断書の記載内容と、死亡者情報票（＝死亡診断書に基づいて、各市町が作成した帳票）の記録に 矛盾がないか確認する項目

全国がん登録逆り調査票

死亡診断書に記載のがんに関する情報の追加・修正届出

複製禁止 0F12345678 6

F001-201601-1 事務局使用機 7.既登録等

1.通常回答

2.死亡診断書に記載のがんは調査票の内容とは異なる⇒死亡診断書に記載のがんを以下の調査票に記入
下記に該当する場合、以下の調査票の記入は必要ありません

3.死体検案 4.死亡診断書には調査対象のがんの記載なし 5.調査対象者の該当なし

6.調査対象腫瘍の詳細診療情報なし(主たる診断・治療病院名:)

死亡診断書のがんについて



区分ごとの調査への対応

死亡診断書のがんについて			調査への対応
区分	意味		
1	通常回答	調査票に記載されたがんの診断をしたが、届出が漏れていた場合	調査対象のがんについて、詳細情報を調査票に記載し、届出します。
2	死亡診断書に記載のがんは調査対象とは異なる	当該患者のがんの診断をしたが、調査票の原発部位等が異なる場合 ・行政による死亡者情報票作成時の間違い等	修正情報とともに、正しい詳細情報を調査票に記入し、届出します。
3	死体検案	死体検案のため詳細情報を持たない	調査票の「死亡診断書のがんについて」の該当する区分をチェックし、届出します。詳細情報の記入は必要ありません。
4	死亡診断書には調査対象のがんの記載なし	死亡診断書に「がん」の記載なし。 ・行政による死亡者情報票作成時の間違い等	
5	調査対象者の該当なし	・行政による死亡者情報票作成時の間違い等 ・死亡診断医師、遺族の誤記等	
6	調査対象腫瘍の詳細診療情報なし	死亡診断書を作成し、「がん」の記載をしたが、診断・治療病院ではないため詳細情報はない場合	調査票の「死亡診断書のがんについて」の該当する区分をチェックし、届出します。初回診断・治療を実施した病院等の名称が分かれば、備考欄に記入してください。

全国がん登録 届出マニュアル 2022 ダウンロード版 P57より



1. 通常回答

- ◆ 調査票に記載されたがんの診断をしたが、届出が漏れていた場合
 - ◆ 例：自施設で3年前にがんと診断された症例 ⇒ 届出漏れ
 - ◆ 例：2011年診断の乳がん患者さんが亡くなったため調査対象となった
⇒ 全国がん登録開始以前に自施設でがんと診断、治療後経過観察を継続していたが、登録対象ではなかったため届出していなかった

直近の診断年の場合⇒ 届出漏れ。ケースファインディングの見直しをお願いいたします

古い診断年の場合⇒ 届出漏れではありませんが、罹患の把握のため、回答をお願いいたします

調査対象のがんについて、詳細情報を調査票に記載し、届出します



2. 死亡診断書に記載のがんは調査対象とは異なる

◆ 当該患者のがんの診断をしたが、調査票の原発部位等 が異なる場合

例) 自施設で膵癌と診断していたが、調査票の原発部位に肝と記載されていた。

原発部位 : 肝 → 膵癌に修正

例) 7月4日に死亡退院していたのに、調査票には7月9日と記載されていた。

死亡日 : 7月4日 → 7月9日に修正

行政による死亡者情報票作成時の間違い等

- ✓ 死亡診断書を記載した医師の字が見つらく正しい情報を拾えていない。
- ✓ 死亡診断書から転記する際の誤入力。



修正情報とともに、正しい詳細情報を調査票に記載し、届出します



3. 死体検案

◆ 死体検案のため詳細情報を持たない

➡ 「3. 死体検案」にチェックを入れ、届出します
詳細情報の記入は必要ありません

【GTOLによるPDF形式の届出の場合】

<input checked="" type="checkbox"/> 全国がん登録遡り調査票②	
死亡診断書のがんについて	3.死体検案
①病院等の名称	東京都 ■テスト病院
②診療録番号	<input type="text"/> (全半角16文字)
③カナ氏名	シ <input type="text"/> (全角カナ10文字) メイ <input type="text"/>
④氏名	氏 日和崎 (全角10文字) 名 一志
⑤性別	<input checked="" type="checkbox"/> 1.男性 <input type="checkbox"/> 2.女性
⑥生年月日	<input checked="" type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 1.明治 <input type="checkbox"/> 2.大正 <input type="checkbox"/> 3.昭和 <input type="checkbox"/> 4.平成 1953年 3月 6日
⑦診断時住所	都道府県選択 東京都 (全半角40文字)
	市区町村以下 中野区東中野2丁目
腫瘍の種類	⑧側性 <input type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明
腫瘍の種類	⑨原発部位 大分類 <死亡者情報票の記載のとおり>
	詳細分類 <死亡者情報票の記載のとおり> C7C9
	⑩病理診断 組織型・性状 <死亡者情報票の記載のとおり> 9530/3

「死亡診断書のがんについて」の区分で、1, 2以外を選択することで、②以降の記入欄がすべてグレイアウトされる



4. 死亡診断書には調査対象のがんの記載なし

◆ 死亡診断書に「がん」の記載なし

＝良性腫瘍、がん疑い、登録対象ではない腫瘍などが記載

例：死亡診断書には「卵巣のう胞腺腫」と記載されていたが、調査票は「卵巣のう胞腺癌」

回答 ➡ 「卵巣のう胞腺腫」（8440/0）は登録対象外

例：死亡診断書には「肺がん疑い」と記載されていたが、調査票は「肺がん」

回答 ➡ 「疑い」症例は登録対象外

行政による死亡者情報票作成時の間違い等

- ✓ 死亡診断書を記載した医師の字が見つらく正しい情報を拾えていない
- ✓ 死亡診断書から転記する際の誤入力



4. 死亡診断書には調査対象のがんの記載なし

- ◆ 「死亡診断書には調査対象のがんの記載なし」にチェックを入れ、届出します。

→ 詳細情報の記入は必要ありません

【GTOLによるPDF形式の届出の場合】

全国がん登録遡り調査票②

死亡診断書のがんについて		4.死亡診断書には調査対象のがんの記載なし	
①病院等の名称		東京都 ■テスト病院	
②診療録番号		<input type="text"/> (全半角16文字)	
③カナ氏名		シ <input type="text"/> (全角カナ10文字)	メイ <input type="text"/> (全角カナ10文字)
④氏名		氏 日和崎 (全角10文字)	名 一志 (全角10文字)
⑤性別		<input checked="" type="checkbox"/> 1.男性 <input type="checkbox"/> 2.女性	
⑥生年月日		<input checked="" type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 1.明治 <input type="checkbox"/> 2.大正 <input type="checkbox"/> 3.昭和 <input type="checkbox"/> 4.平成 1953年 3月 6日	
⑦診断時住所		都道府県選択 東京都 (全半角40文字)	
		市区町村以下 中野区東中野2丁目	
腫瘍の種類	⑧側性	<input type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明	
	⑨原発部位	大分類	<死亡者情報票の記載のとおり>
		詳細分類	<死亡者情報票の記載のとおり> C709
⑩病理診断	組織型・性状	<死亡者情報票の記載のとおり>	9530/3

「死亡診断書のがんについて」の区分で、1、2以外を選択することで、②以降の記入欄がすべてグレイアウトされる。



5. 調査対象の該当なし

- ◆ 調査票に記載されている患者は自施設を未受診
- ◆ 調査票に記載されている患者は自施設で診断・治療した患者かどうかわからない

例：カルテを検索したが、調査対象者に該当する患者はいなかった

例：生年月日の「日」が違い、調査票に記載されている住所が老健施設でカルテの住所は個人宅住所。自施設では同一人物か判断できない

5. 調査対象の該当なし

- ◆ 「5. 調査対象者の該当なし」にチェックを入れ、届出します。

→ 詳細情報の記入は必要ありません

「死亡診断書のがんについて」の区分で、1、2以外を選択することで、②以降の記入欄がすべてグレイアウトされる。

【GTOLによるPDF形式の届出の場合】

<input checked="" type="checkbox"/> 全国がん登録遡り調査票②	
死亡診断書のがんについて	5.調査対象者の該当なし
①病院等の名称	東京都 ■テスト病院
②診療録番号	<input type="text"/> (全半角16文字)
③カナ氏名	シ <input type="text"/> (全角カナ10文字) メイ <input type="text"/> (全角カナ10文字)
④氏名	氏 日和崎 (全角10文字) 名 一志 (全角10文字)
⑤性別	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性
⑥生年月日	<input checked="" type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 1. 明治 <input type="checkbox"/> 2. 大正 <input type="checkbox"/> 3. 昭和 <input type="checkbox"/> 4. 平成 1953 年 3 月 6 日
⑦診断時住所	都道府県選択 東京都 (全半角40文字)
	市区町村以下 中野区東中野2丁目
⑧側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input type="checkbox"/> 7. 側性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
腫瘍の種類	⑨原発部位 大分類 <死亡者情報票の記載のとおり>
	詳細分類 <死亡者情報票の記載のとおり> C70.9



6. 調査対象腫瘍の詳細診療情報なし

◆ 死亡診断書を作成し、「がん」の記載をしたが、診断・治療病院ではないため詳細情報はない場合

例：救急車で自施設へ搬送。乳癌によるDIC（播種性血管内凝固症候群）でそのまま亡くなった。詳しい診断・治療について自施設では確認できない

回答 ➡ 区分「6」を選択。備考に上記経過を記載もしくは入力

例：狭心症で死亡。2015年にA病院で胃癌を内視鏡切除し、A病院で経過観察していた。再発はなかったが、医師が死亡診断書に記載した

回答 ➡ 他院で完結している既往情報のため自施設では胃癌の詳細情報を持っていない、区分「6」を選択

「6. 調査対象腫瘍の詳細診療情報なし」にチェックを入れ届出します。
詳細情報の記入は必要ありません



6. 調査対象腫瘍の詳細診療情報なし

初回診断・治療を実施した病院等の名称が分かれば、備考欄に記入してください

➡ 入力項目がグレイアウトしても備考は入力可

【GTOLによるPDF形式の届出の場合】

初回治療	⑮外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/>	
	⑯鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/>	
	⑰内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/>	
	⑱観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣切除	<input type="checkbox"/> 4. 姑息的な観血的治療	<input type="checkbox"/>	
	その他治療	⑳放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/>
		㉑化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/>
㉒内分泌療法		<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/>	
㉓その他治療		<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行	<input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし	<input type="checkbox"/>	
㉔死亡日		<input type="checkbox"/> 0. 西暦	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 平成	28年 9月	
備考		死亡票に記載の原発部位：大脳 死亡票に記載の病理診断：海綿状血管腫 多発性骨髄腫。〇〇病院にて診断、治療。			

死亡票に記載の原発部位や病理診断は、消してしまっても遡り調査に支障はありませんが、登録室で内容チェックする際に、参照できると助かります。消さずに、あとに続けて入力をお願いします。



(全半角128文字)



届出済みの時は・・・

- ◆ 区分1. **通常回答**を選択し、届出済みの内容を再度記載してご提出ください
- ◆ その際、必ず備考に「**届出済み**」とお書き添えください

お手数おかけいたします
がご協力よろしくお願
いいたします

